

環境経営レポート

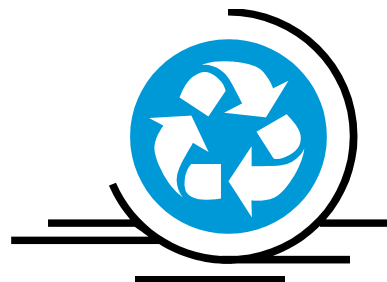
日南精機株式会社

第39期(2023年5月～2024年4月)



2024年10月01日 作成日

2024年10月22日 改定日



1. 事業活動の概要

1) 事業者及び代表者名

日南精機 株式会社 代表取締役 安 達 祐 二

2) 会社設立年月

昭和60年6月

3) 所在地

本社・工場:愛知県小牧市大字小木24-14
組立工場 :愛知県小牧市大字舟津字上針田1241-1

4) 環境責任者および担当者連絡先

責任者 営業部 中 村 将 造
事務管理局 経理部 小 谷 純 子
【本社・工場】TEL 0568-77-5244
FAX 0568-75-6846

5) 事業内容

検査、試験装置及び製造設備の製造並びに金属加工
各種計測器、検査、試験装置及び製造設備の校正業務

6) 事業規模

資本金 1,000万円
売上高 1,336百万円【第39期】
従業員数 本社・工場 21名
 組立工場 7名
工場面積 本社・工場 敷地:995.00㎡ 建物:476.70㎡
 組立工場 敷地:963.48㎡ 建物:546.46㎡
対象期間 2023年5月～2024年4月

7) 認証・登録範囲

認証登録範囲:日南精機株式会社 本社・工場、組立工場
活 動:前記事業内容の通り

2. 環境経営方針

〔環境理念〕

当社は製品の開発・評価試験および生産におけるLA化・FA化をめざすお客様のニーズに、24時間対応で迅速かつ確実にお応えすることを経営理念として発足しました。

お客様にメカニック、電子回路、ソフトウェアの設計・製作や、検査、試験装置及び製造設備の製造並びに金属加工、計測器・試験機のご提供、および計測機器の校正業務の受託を通じて、お客様の環境測定・環境改善・環境管理業務遂行の一助となることを環境理念とし、お客様の良きパートナーになれることを目標に邁進していきます。

また、事業活動において限りある資源と年々深刻化する地球環境の変化を考慮し、省資源と環境に配慮した活動を社員一丸となって取り組みます。

〔環境経営方針〕

※お客様にご提供する製品・生産・サービスを通じて、環境配慮を推進します。

※環境教育等を通じて全社員の環境に対する意識向上を図り、環境保全活動に努めます。

※環境関連の法規、及び弊社が同意した協定を順守します。

当社は、環境理念を具現化するために、上記の項目を除く以下の取り組み項目に環境目標を定め、その達成度を把握し、定期的な見直しを行い環境活動を推進します。

- 1) 事業活動に伴う省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出の削減に努めます。
- 2) 資源を有効に利用するため、廃棄物の削減、古紙リサイクルや水資源の節水に努めます。
- 3) 化学物質の適正管理に努めます。
- 4) 不良率の改善を実施し、効率化を促進します。

改定日： 平成27年2月16日

日南精機株式会社
代表取締役

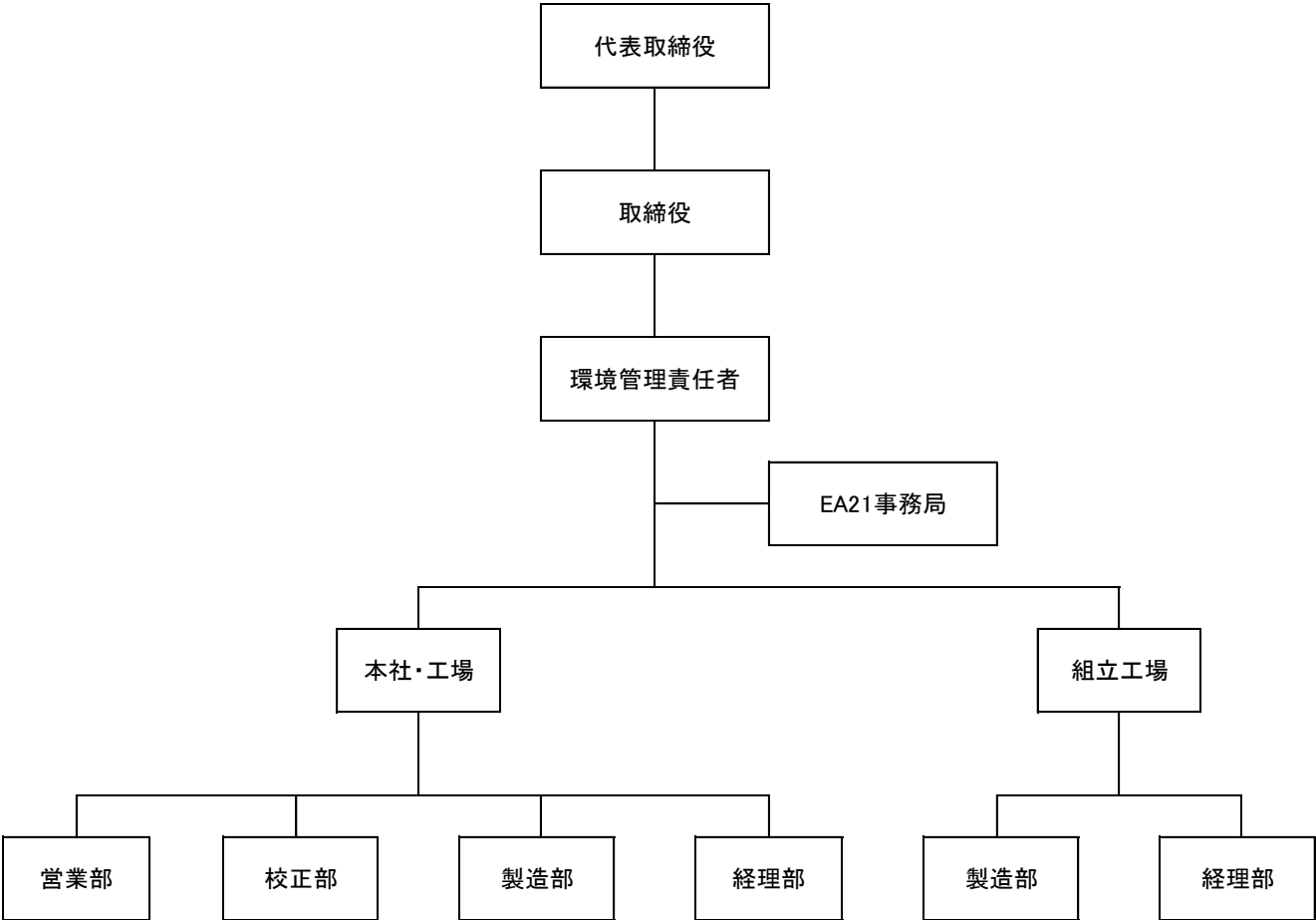
安達 祐二

3. 環境経営システムの実施体系図

EA21実施体系図

作成日 2023/4/1

総計 27名



役割	責任・権限
代表者	環境方針の作成、環境管理責任者の任命、資源（人員・設備・費用等）の準備、代表者による全体の評価と見直し、環境活動レポートの承認 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 実施体制の構築
環境管理責任者	代表者に代わり環境経営システムの構築・運用・維持し、外部からの苦情の受付と必要な対応及び結果の記録、環境活動レポートの作成
事務局	環境関連文書及び記録の素案作成・管理及び環境管理責任者の補佐

4. 環境経営目標

改定日	2021年6月21日
作成責任者	中村 将造

項目		単位	34期～36期	37期		38期		39期	
			2018年5月 ～2021年4月	2021年5月 ～2022年4月		2022年5月 ～2023年4月		2023年5月 ～2024年4月	
			基準	目標数量		目標数量		目標数量	
二酸化炭素排出量の削減		kg	87,168	-1%	86,296	-2%	85,425	-3%	84,553
購入電力		kWh	124,292	-1%	123,049	-2%	121,806	-3%	120,563
化石燃料	ガソリン	L	10,715	-1%	10,608	-2%	10,501	-3%	10,394
	軽油	L	393	-1%	389	-2%	385	-3%	381
水使用量の削減		m³	137	-0.25%	137	-0.5%	136	-0.75%	136
廃棄物の排出量	一般廃棄物処分量	t	2.87	-1%	2.84	-2%	2.81	-3%	2.78
	廃プラスチック	kg	676	-1%	669	-2%	662	-3%	656
	廃油	kg	467	-1%	462	-2%	458	-3%	453
化学物質使用量		-	注①SDS・施錠・数量管理する		注①SDS・施錠・数量管理する		注①SDS・施錠・数量管理する		注①SDS・施錠・数量管理する
事業活動の効率化 品質配慮の生産		件	工程内不良件数 年間60件以下(月5件以下)	工程内不良件数 年間60件以下(月5件以下)		工程内不良件数 年間60件以下(月5件以下)		工程内不良件数 年間60件以下(月5件以下)	

電気使用量の二酸化炭素排出係数
関西電力 0.352kg-CO2/kWh(2018年度)

- 注① 化学物質使用量が少ないため、SDS・施錠・数量の管理をする。
- 注② 液化石油は使用量が少ないため、目標設定を行わない。



5. 環境経営計画

2023年5月～2024年4月

環境経営目標項目		取り組み内容	担当部門
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	室内空調は夏は28℃±1℃、冬は22℃±1℃を目安にする。	全部署
		昼休み、休憩の照明消灯及びパソコンは待機電力とする。	
		電気スイッチ付近に節電ステッカーを貼り付け節電に努める。	
		生産性の向上	
	ガソリン・軽油の効率化	エコドライブ・アイドリング防止の徹底	営業部
		安全運転の実施	製造部
		低燃費車への切り替え	校正部
水使用量の削減		手洗い等の節水	全部署
		漏水チェック	
		水場に節水ステッカーを貼りつけ節水に努める	
産業廃棄物の削減 (資源化の促進)		ゴミの分別を徹底し、再利用の比率をあげる。	全部署
		段ボール、梱包資源の再利用、通い箱の利用	
		業務連絡に電子メールの利用など、ペーパーレスに努める	
		コピー用紙の両面使用	
		鉄くずの分別の徹底(資源化の促進)	
化学物質量の管理		保管場所、量の適正管理	製造部
		SDSの収集・管理	
事業活動の効率化		不良、クレームの削減	製造部
環境配慮の生産		不良数の把握	製造部
		古紙リサイクル	全部署

6. 環境経営目標の実績

項目		単位	34期～36期	39期				評価
			2018年5月 ～2021年4月	2023年5月～2024年4月				
			基準値	目標数量		実績		
二酸化炭素排出量		kg	87,168	-3%	84,553	80,993	-7.1%	○
購入電力		kWh	124,292	-3%	120,563	126,822	2.0%	×
化石燃料	ガソリン使用量	L	10,715	-3%	10,394	9,323	-13.0%	○
	軽油使用量	L	393	-3%	381	541	37.6%	×
水使用量		m³	137	-0.75%	136	153	11.7%	×
廃棄物の排出量	一般廃棄物処分量	t	2.87	-3%	2.78	1.51	-47.4%	○
	廃プラスチック処分量	kg	676	-3%	656	460	-31.9%	○
	廃油処分量	L	467	-3%	453	0	-100.0%	○
化学物質の適正管理		-	注①SDS・施錠・数量管理する	注①SDS・施錠・数量管理する	SDS・施錠・数量管理できた	-	○	
事業活動の効率化 品質配慮の生産		-	工程内不良件数 年間60件以下(月5件以下)	工程内不良件数 年間60件以下(月5件以下)	工程内不良件数 6件 ※1	-11.7%		

■電気使用量の二酸化炭素排出係数
2023年5月～2024年4月 中部電力ミライズ 0.459kg-CO2/kWh(2023年度)

○	目標達成
△	削減できたが目標未達成
×	基準年度より増加したもの



7. 環境経営計画の実施・取組結果とその評価

取組内容(2023年5月～2024年4月)		評価(現状)	次年度の取組み計画
①二酸化炭素排出量の削減			
a. 購入電力使用量の削減		夜間残業の削減・不要時の消灯が、引き続き行われている。 電気の消し忘れ(トイレ)に気づき周知を行うこともあった。	現状の取組みを、引き続き行い、電力消費量の削減に繋げていく。 電気の消し忘れ等、異変に気付いた際の周知も引き続き行っていく。 目標値を見直し、経過観察を行う。
b. ガソリン・軽油の効率化		電気自動車の導入や各自、不要なエコ運転を心がけガソリンの使用量削減に取り組みました。 経路の使用量の増加の要因として搬入等での使用が多かったとみられる。	また不要なアイドリング、急発進、急加速を避けたエコ運転を引き続き心がける。 搬入荷物をまとめる、自動車で納品可能な物は自動車で納品する等、トラックの使用回数の削減を促す。
②水使用量の削減		各自節水に対する意識を持って取り組みを継続しております。 7月8月の使用量が異常値として発覚、水漏れ、破損等の異常は見られず連休中の蛇口の締め忘れが考えられます。	現状の取組みを、引き続き行い、水道使用量の削減に取り組んでいく。 電気と同じく、水道使用後の締め忘れの確認、注意を促しました。
③産業廃棄物排出量の削減			
a. 一般廃棄物処分量		継続的に資源の再利用(コピー用紙、商品の梱包材等)を行い、継続的に処分量の削減に取り組んでいます。	コピー用紙の両面使用など再利用できる物、古紙リサイクルに出す物など引き続き分別を意識します。
b. 廃プラスチック処分量		小さいサイズで数量が多い商品等、先方から通い箱(ケース)を支給いただく等、廃棄量削減に取り組めました。	引き続き無駄な資源の使用を行わないよう心がけ、再利用等常に削減に取り組めます。
c. 廃油処分量		新しい加工機の導入により、廃油処分量が減りました。	引き続き切削水のメンテナンスを定期的に行うことで処分量の削減に取り組む。
④化学物質の適正管理		SDS、施錠、数量を適正に管理できました。	今後も継続して適正に管理するよう努めます。
⑤事業活動の効率化		不具合品が発生した際に、加工者間での周知を常に行うことで、原因、対策、再発防止に取り組んでいます。	引き続き不具合品発生防止の取り組みを継続して行います。 目標値の再設定を行い経過を観察します。

8. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

※遵守評価 2024年7月15日

○:適合 x:不適合

該当法令	順守事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法	廃棄物の適正分別 発生廃棄物の再生利用等減量化に努める また減量化に協力する(一般廃棄物も含む) 産業廃棄物の適正管理 ・産業廃棄物許可証の確認 ・産業廃棄物許可証の有効期限の確認 【有効期限】 大和エルフ ⇒2030年6月23日 平光商店 ⇒2029年3月16日 日英 ⇒2028年1月7日 マニフェスト管理(5年間保管) 管理票交付状況報告書提出(令和6年7月15日提出) 産業廃棄物処理業者の処理能力の確認(2021年4月12日)	○
県民の生活環境保全	自動車の駐停車時のアイドリングストップ及び エコドライブ、安全運転の実施 自動車は低公害車等の購入に努める	○
騒音規制法	空気圧縮機で7.5KW以上(国) 空気圧縮機で3.75KW以上(愛知県) 特定施設設置届出書の提出 勤務時間内での作業	○
振動規制法	空気圧縮機で7.5KW以上(国) 空気圧縮機で3.75KW以上(愛知県) 特定施設設置届出書の提出 勤務時間内での作業	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの設置 第一種特定製品の確認 修理・廃棄は登録業者に依頼 3ヶ月ごとに簡易点検を行う	○

※違反・訴訟等の有無
環境関連法規制等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係各署や近隣の方々等からの指摘・苦情・訴訟はありませんでした。

9. 環境上の事故及び緊急事態の想定及びその対応策

予防内容	種別	防止策・対応策
火災	漏電	電気管理会社による定期点検の実施。出火した場合は消火器で消火する。物で消火器が隠れないよう整理整頓をする。消火器の位置確認。
火災	タバコ	指定喫煙場所以外の喫煙を禁止する。燃えやすい物を扱っているので厳守すること。駐車場は可燃ごみや段ボールが置いてあるので禁煙
火災	引火性の高い廃棄物	これらの廃棄物を屋外へ放置しない。適正な管理を行う。
環境汚染	加工機からの水溶性油の漏れ	オイル吸着材等を使用しオイルを拭き取る。床面が滑る可能性があるので完全に乾くまで立ち入りを禁止する。
土壌汚染	車両の油漏出	エンジンオイル等漏れがないか、給油時や定期的にオイル交換をし異常を早期に発見し漏出を未然に防ぐ。
騒音	空気圧縮機のエアー漏れ	ホースに劣化がないか。接続がきちんとされているか確認する。以上が発生したら速やかに電源をOFFにし騒音被害を最小限に防ぐ。



10. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境管理責任者全体評価所見

年々、増加傾向にみられる電力、水使用量に対して各々節電、節水に取り組んでおりました。しかし、7月、8月の水使用量が異常値となり、明確な原因が判明せず、蛇口の締め忘れが連休中に発生したと考えに至りました。電気の消し忘れ、蛇口の締め忘れの注意を行い、万が一そういったことが目撃された際は周知を行うことで防止策とします。品質目標の部署間コミュニケーションの強化は環境についても改善につながります。来期の数値と比較し、経過確認を行います。また、化石燃料の使用量が増加しており、ガソリンの使用量については目標値以下でしたが、軽油（トラックの使用によるもの）が増加傾向にみられます。仕事量の増加によるものと考えられますが、これらもムダの削減ができると思われます。環境改善に向けての意識を持って社員一丸となって継続して取り組みを行います。



代表者による全体評価・見直し指示	見直し項目	変更の必要性	指示事項等
	1 環境経営方針	必要 ☒ 不要 ☐	
	2 環境経営目標	☒ 必要 ☐ 不要	
	3 環境経営計画	必要 ☒ 不要 ☐	
	4 実施体制	☒ 必要 ☐ 不要	
	全体評価・コメント 環境経営システムの有効性 環境への取組の適切性等	「事業活動の効率化、品質配慮の生産」に関して 営業、加工会議で議題に上げて検討を行い具体的な対策を行っているので 継続的に何らかの改善を行い継続してください。 環境目標に従業員の環境意識の向上のため、教育の実施をしてはどうか？ 検討すること。	

4. 環境経営目標

改定日	2024年6月21日
作成責任者	中村 将造

項目		単位	37期～39期	40期		41期		42期	
			2021年5月 ～2024年4月	2024年5月 ～2025年4月		2025年5月 ～2026年4月		2026年5月 ～2027年4月	
			基 準	目 標 数 量		目 標 数 量		目 標 数 量	
二酸化炭素排出量の削減		kg	79,313	-1%	78,520	-2%	77,726	-3%	76,933
購入電力		kWh	125,588	-1%	124,332	-2%	123,077	-3%	121,821
化石燃料	ガソリン	L	8,860	-1%	8,772	-2%	8,683	-3%	8,595
	軽油	L	438	-1%	434	-2%	429	-3%	425
水使用量の削減		m ³	149	-0.25%	148	-0.5%	146	-0.75%	145
廃棄物の排出量	一般廃棄物処分量	t	1.65	-1%	1.63	-2%	1.61	-3%	1.60
	廃プラスチック	kg	480	-1%	475	-2%	470	-3%	465
	注①廃油	kg	3年間で 900	-	-	-	-	-	-
化学物質使用量		-	注②SDS・施錠・数量管理する	注②SDS・施錠・数量管理する		注②SDS・施錠・数量管理する		注②SDS・施錠・数量管理する	
事業活動の効率化 品質配慮の生産		件	工程内不良件数 年間12件以下	工程内不良件数 年間12件以下		工程内不良件数 年間12件以下		工程内不良件数 年間12件以下	

電気使用量の二酸化炭素排出係数
0.459kg -CO₂/kW(中部電力ミライズ(株)2022年度)

注① 廃油はドラム缶に溜めてから排出するので、毎年の排出量が安定しない為、
3年での総量900kgとした。

注② 化学物質使用量が少ないため、SDS・施錠・数量の管理をする。

注③ 液化石油は使用量が少ないため、目標設定を行わない。

